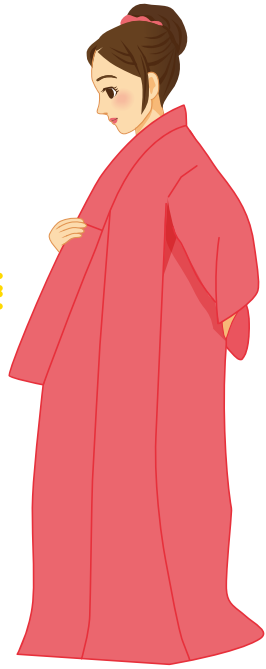
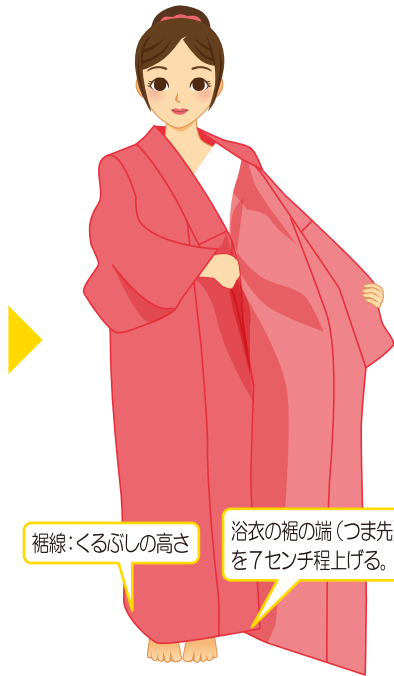


ゆかたのきかた



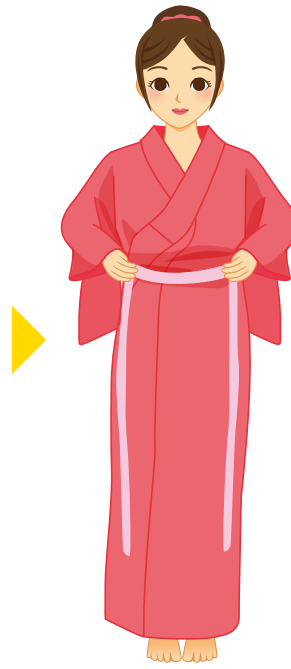
1 浴衣に袖を通す。前中央で左右の共衿をそろえ、背縫い線が背の中心になっているか確かめる。



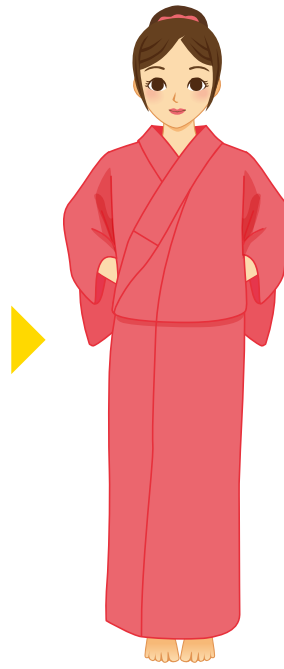
裾線:くるぶしの高さ

浴衣の裾の端(つま先)を7センチ程上げる。

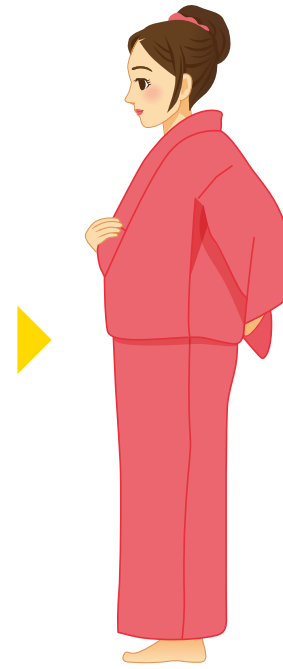
2 衿先から手幅ひとつのところに持ち、裾を上げる。徐々に裾を下ろし、裾線を決める。裾線をキープしつつ、左前になるように浴衣を合わせる。



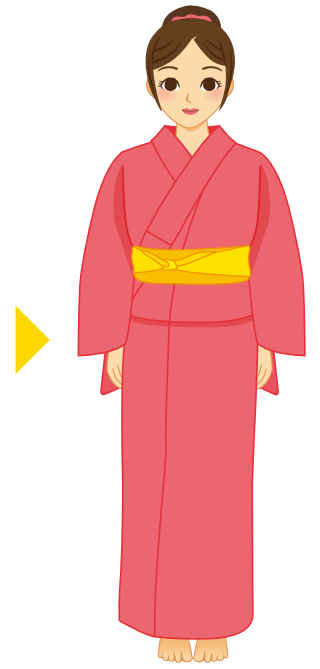
3 腰ひもをあて、後ろで交差したら、ぎゅっとひと締めし、前にまわして結ぶ。ウエストまわりのしわをサイドに寄せ、しわを整える。



4 身八つ口から手を入れ、前後のおはしりをおろす。



5 衿元を整える。後ろ：衣紋を握りこぶし一つ分抜く。前：のどのくぼみあたりで交差する。



6 腰ひもをしめる。前と後ろ、脇のしわを整える。伊達締めをしめる。

イラスト&文：したらたらこ <http://sstarako.web.fc2.com/howto.html>

帯のむすびかた

1 帯の“手”を胸幅の長さ分とる。半分に折り、手に続くたれの部分を三角にひろげ、体の中心にあてる。



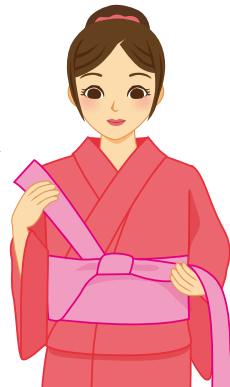
2 “手”を肩にあずけ、帯を胸に2周巻く。中心で半幅になるように斜めに折り上げる。



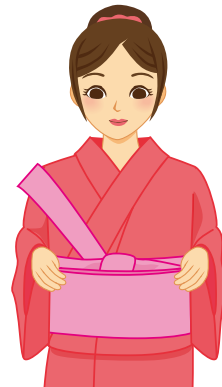
3 “手”をたれの上におろす。



4 “手”を上、たれを下にしてひと結びする。結び目のきをしっかりと開く。



5 “手”を肩にあずけ、たれを胸幅に折りたたみ、羽根をつくる。



6 羽根にかぶせるように“手”を上からおろし、“手”を羽根の間にできた輪に通す。



7 引き出した“手”を帯の内側にしまう。時計回りに帯を後ろに回す。帯板を入れて完成。

